



学校だより

No.5

7月号

令和2年6月30日

横浜市立洋光台第四小学校

ホームページもご覧ください。 www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

小さな力が集まれば・・・

校長 瀬田 ゆかり

紫陽花の花が、美しく色づく季節になりました。本校の敷地内でも、きれいな紫陽花が色さまざまに咲き、花の周りをちようちようが気持ちよく飛んでいるのを見ると心が和みます。一つ一つの小さな花が子ども、そして、その花が一つに集まる様子は、まるで学級や学年を表しているかのように見えてきます。一人ひとりの力が集まれば、小さな力も大きな力に変化します。

子どもたち一人ひとりの力を最大限に生かし、学級、学年、学校経営に活かしていければと思います。



朝、校門の前で、子どもたちに挨拶をしています。「今日は元気に登校してきたかな？」「疲れていないかな？」など、一人ひとりの子どもたちの表情から読みとり、声をかけるように心がけています。学校が始まった一ヵ月前は、自分から元気に挨拶してくれる子、恥ずかしそうにして通り過ぎる子など様々でした。しかし、一ヶ月たった今、ほとんどの子どもたちが、「おはようございます。」と元気に挨拶してくれるようになってきています。しっかりと相手の目を見てあいさつする子どもたちが増えているのも嬉しいばかりです。

ある日、校内を歩いていると、赤階段に掲示してある素敵なお知らせを見つけました。それは、昨年度の人権委員会が作成してくれたポスターでした。そこには、“あいさつは 人をつなぐ 魔法の言葉”と書いてありました。そのポスターを見たとき、何故かすごく感激しました。洋四小では、昨年度も挨拶を大切に生活してきましたが、今年度も自分から進んで、そして、心からあいさつできる子どもたちがもっともっと増えるといいなと思います。

さて、7月から、今年度初めての給食が始まります。これまでの給食スタイルとは違い、食事をするときだけマスクを外し、食べ終わったらすぐにマスクを付ける。配膳は、カフェスタイル。食事中は、前を向き、私語は慎み、黙々と食事をする。片付けは、自分のものは自分で。「休み時間、〇〇が楽しかったね。」「〇〇ちゃんって、〇〇がすごいんだね。」「次の係活動、何する？」など、子どもたち同士が、楽しい会話をしながら食事をする事ができません。一年生は、職員を複数体制にして給食の準備にあたります。

様々な場面で、子どもたちは知らないうちにストレスを貯めてしまっています。各御家庭でも、子どもたちの小さな変化を見逃さないよう、そして、気になることがありましたら、担任や専任等に相談していただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。